

## 1月のハイライト

- ふいご修理継続中
- アクション・チェスト部品製作
- 上鍵盤用チェストの再組立
- 送風関係の改良
- 電気関係の改良

### ➤ ふいご修理継続中

昨年末より取り掛かっている革貼り作業を引き続き実施しています。羊皮紙に続き、同じく蝶つがいになる羊革のリボンを全周に貼付けを行いました。ふいご稼働時の風圧や、それを発生させるためのオモリの重量も受けるため強度が必要で、ニカワがしっかりつくためには事前の足付けなども重要です。予備調査では十分な強度が確認されました。

併せて空気漏れを防ぐ革リボンの貼り付けにも移っていきませんが、その準備となる「革漉き」もまだ多く残っているため、引続きふいごの修復が続きます。



羊皮紙の貼付け状態



蝶つがい用羊革の短冊



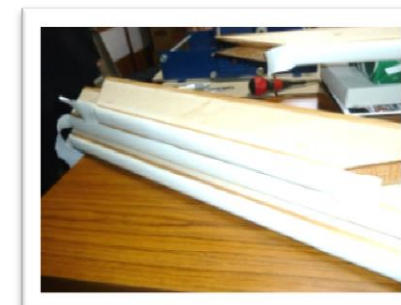
羊革の貼付け状態



ニカワを使い一枚一枚貼っていく



内張りの空気漏れ止め革



側板の空気漏れ革の貼付け



側板の空気漏れ革の貼付け



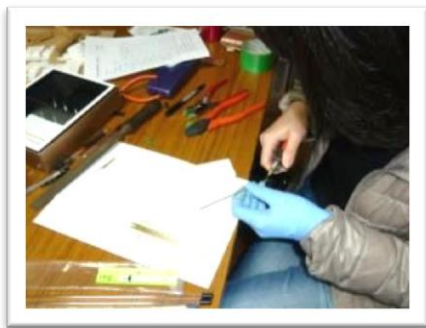
底板と側板が組み上がった

### ➤ アクション・チェスト部品製作

引続き部品製作が続いています。今回はパレットという音の入り切りをコントロールするバルブにつながる部品を製作頂きました。個数も多く、寸法精度も求められる部品ですが正確に作っていただきました。



フック状の部品



製作中

### ➤ 上鍵盤チェスト部品の再組立

作って頂いた部品を使い、上鍵盤用のチェストの再組立を開始しました。同時に、鍵盤タッチの悪化につながっていた点なども是正しながら進めます。



再組立を行った状態  
製作したディスク・フックなどが使われている

### ➤ 送風関係の改良

昔のパイプオルガンは人力でふいごを踏んで風を送っていましたが、現代の楽器では電動ブロワーによっています。橋本教会のブロワー自体はメンテナンスはされていなかったものの、故障などはありませんでした。しかし今後細やかな風量調整などを可能にするため、追加でインバータを導入しました。これにより回転数の調整ができるようになり、騒音や風量をコントロールできます。



インバータが付いたブロワーボックス

### ➤ 電気関係の改良

同時に電気関係の改良も進めています。これまでオルガンのスイッチは操作しづらく、操作ノイズも大きなものでしたが、これを鍵付のスイッチに変更を行います。



鍵付きスイッチを付けた様子